

第 6 回福島第一廃炉国際フォーラムの 結果概要

令和 4 年 9 月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

第6回福島第一廃炉国際フォーラムの結果概要

- 地元の皆さまの不安や疑問に耳を傾け、地元の皆さまに廃炉に関する情報を分かりやすく提供するとともに、国内外の専門家が廃炉の最新の進捗・技術的成果を広く共有するため、8月28日（日）及び8月29日（月）の2日間で、「第6回福島第一廃炉国際フォーラム」を開催（開催に当たり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施）
- 第1日目（8月28日）は、大熊町で開催し、地元の皆さまとの双方向コミュニケーションの取組を実施
- 第2日目（8月29日）は、いわき市で開催し、国内外の専門家が廃棄物分析の最新の状況・課題を共有
- 合計参加人数（2日間の延べ人数）は、550名（第1日目：209名、第2日目：341名）

開催概要

- **第1日目：8月28日（日）12:30～16:25**

- ✓ 会場：Linkる大熊
- ✓ コンセプト：**地元の皆様と考える1F廃炉**
- ✓ テーマ：**福島第一廃炉と地域の未来を考える**
×**地域の方々の声に耳をすませる**

<主な内容>

- ・福島第一廃炉と地域の未来についての基調講演
- ・事前ワークショップ（学生セッション等）に係る発表
- ・事前ヒアリングに基づいた論点を中心としたパネルディスカッション

- **第2日目：8月29日（月）11:00～17:40**

- ✓ 会場：いわき芸術文化交流館アリオス
- ✓ コンセプト：**技術専門家と考える1F廃炉**
- ✓ テーマ：**分析への取り組み**

<主な内容>

- ・1F廃棄物の現状と分析の課題、海外の例等についての講演
- ・テーマを基にした国内外の専門家によるパネルディスカッション

<御参考> 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

来場者（スタッフ含む）の行動・体調確認等、収容人数の制限（サテライト会場設置や隣席間隔確保）、事前予約制、検温、発熱有症状者の参加制限、マスク着用、消毒・常時換気の徹底、飲食制限

第6回フォーラム参加人数

8月28日（日）
209名（うち福島県内 115名）
8月29日（月）
341名（うち福島県内 108名）
2日間の合計（延べ人数）
550名（うち福島県内 223名）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、収容人数を制限

<参考>

第3回フォーラム参加人数：1,264名（延べ）
第4回フォーラム参加人数：1,297名（延べ）
第5回フォーラム参加人数：489名（延べ）

